

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-003

PDCA	事務事業名	電子書籍貸出事業(新型コロナウイルス感染症対策)	部課等名	教育部 図書館	担当	野不雄 会	内線等	23-7171
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (4) 図書館の利用促進 個別施策： ②誰でも図書館を利用できる環境整備						
	根拠法令等	図書館法、半田市立図書館条例						
	対象・目的	来館が困難なビジネスマンや高齢者、障がい者等への利用を支援し、利便性向上に寄与すること。また、感染症流行による臨時休館の際にもサービスを提供できるようにすること。						
	目的を達成するための手段・活動内容	インターネットを利用して電子書籍の貸出・予約ができる非来館型の電子図書館サービスを導入する。利用者の利便性向上と統計資料作成のため、現状の図書館システムの機能拡張改修を実施し、システム連携させる。電子書籍を初期導入分として3,000タイトル購入する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位		
		①蔵書冊数	—	—	3,148	冊		
		事業費			19,665	千円		
		人件費			4,197	千円		
		総事業費			23,862	千円		
	成 果	活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位		
		①市民一人あたりの電子書籍購入費	—	—	94	円		
		②						
		③						
		成果指標	30年度	元年度	2年度	単位		
①貸出冊数(令和3年3月2日～31日)		実績値	—	—	1,314	冊		
	目標値	—	—	—				
	②利用者数(延べ)(令和3年3月2日～31日)	実績値	—	—	702	人		
	目標値	—	—	—				
	③	実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	A 図鑑、料理本、ビジネス書、小説など、各世代のニーズに合う資料のほか、外国語の絵本や読み上げ機能のついた資料など、幅広い層に向けた資料を3,000タイトル購入し、コロナ禍のもと利用者の利便性向上を図ることが出来た。市内公共施設、小中学校、高校、大学、金融機関などへ幅広く周知したこともあり、令和3年3月開始から約1か月間で貸出冊数は1,314冊と、蔵書数が同程度の他市と比べて多かった。利用者のニーズの把握や図書館未利用者への周知、広域での事業実施などが課題。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	統廃合等 図書館資料整備事業へ統合し、実施していく。声や音が出る絵本、外国語翻訳の本など、電子書籍ならではの魅力をPRし、利用促進を図る。統計に基づき、利用の多い分野の資料を増やすなど、資料の充実を図っていく。また、デジタル化した資料を公開できる機能があることから、半田らしい特色のある資料の電子化を進めていく。						
	令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位	
		①				目標値		
		②				目標値		
	③				目標値			